

今月のことば

2013年 6月



「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っている通りに、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

聖書

ヨハネの福音書7章37、38節

心の渴きをいやす水をご存知ですか？

聖書の歴史の主要な舞台であるユダヤの地を旅した時のこと。荒涼とした荒野にある古代エリコの史跡に立って見渡すと、驚いたことに、眼前に青々とした木々と畑に囲まれた結構大きな町が広がっているのです。荒野の中の緑の町、それは奇妙な光景でしたが、理由はすぐにわかりました。その町は豊かな水源を持っていたのです。

キリストが公生涯の大半を過ごされたガリラヤの地は緑豊かな土地でした。キリストの足跡をたどろうとガリラヤ湖畔を歩くうちに水が尽き、やがてのどが渴いてひりひり痛むほどになりました。キリストの十二弟子気取りで歩いていた感動の旅は、いつしか水を求めて必死に歩く悲惨な旅となってしまいました。やっとたどり着いた小さな集落に水場を見つけた時の感激を20数年経つ今も、鮮やかに思い出すことができます。渴きの激しさ、水のありがたさ、乾燥の度合いの違う日本では味わい得ないものでした。渴きについて、また渴きをいやす水について記された多くの聖書の箇所が一層意味深いものとなる体験でした。

聖書は心の渴きをいやす水を満々とたたえる泉です。「今月のことば」の中で、イエス・キリストは、心に渴きを覚える者に「わたしのもとに来て飲みなさい」と招きの声をかけておられます。また彼を信じる者の心には「生ける水の川が流れ出るようになる」と語られました。筆者は高校2年の時、激しい心の渴きを覚えて教会を訪れ、心に水源を開いていただきました。その時以来水源は枯れることなく流れています。あなたの心は渴いていませんか。

みらい平キリスト教会はあなたのおいでを

心からお待ちしています。